

米空軍と航空自衛隊 整備研修を実施 *USAF, JASDF maintenance immersion*

November 24, 2023

A1C Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

10月31日から11月3日のあいだ、第374整備群は横田基地に航空自衛隊の隊員を招き、二国間の整備研修を行った。

第374整備中隊、航空機整備中隊、運用支援中隊の空兵が主催したこの研修は、日米の相互運用性を高めるため、互いの整備知識を深め、コミュニケーションの強化を図る目的で行われた。

「航空自衛隊は、米軍の整備方法について知識を深め、日々の業務にどう活かせるかを知るために訪れた」と第374整備群整備運用監督官デビッド・アーノルド上級曹長は話し、「航空自衛隊の整備担者が作業で連携する方法を体験を通して学び、この共同研修を通じて革新的なソリューションを構築できることを願っている」と研修を振り返った。

航空自衛隊の参加者は各参加部隊で1日を過ごし、さまざまな整備手順を見学したり、横田基地で行っているバーチャルリアリティ訓練について学んだり、航空機を見学するなどし、整備専門官との交流を図った。

「今回の研修で、特にC-130Jスーパーハーキュリーズを見学できて良かった」「米軍がどう仕事に取り組んでいるかを知り、互いに学び合えて有意義だった」と第3輸送航空隊KC-46クルー・チーフの橋場風香空士長は語った。

横田基地では、航空自衛隊パートナーとの研修を度々開催し、日米同盟の強化および共同任務能力向上のために専門官同士の情報交換を行っている。

